

PB システム「給与」時間外・勤怠控除計算式

【支給項目】

項目No	項目名	計算方法
1	基本給（月給）	『社員設定_支払基準』で登録した「月給」金額
2	基本給（日給①）	（出勤日数①*1+有給休暇日数） × 「基本給日給1*2」日給単価
3	基本給（日給②）	出勤日数② × 「基本給日給2」日給単価
4	基本給（日給③）	出勤日数③ × 「基本給日給3」日給単価
5	基本給（時給①）	勤務時間① × 「基本給時給1*2」時給単価
6	基本給（時給②）	勤務時間② × 「基本給時給2」時給単価
7	基本給（時給③）	勤務時間③ × 「基本給時給3」時給単価
*1：給与データ入力画面「勤怠情報」欄の各項目に入力します。 *2：『社員設定_支払基準』（支払基準一覧）で設定します。		
8	役員報酬	直接入力
*『会社設定_支給項目設定』で「区分=固定」で登録されている場合、初回入力した金額を翌月以降自動表示します。		
9	通勤手当	『社員設定_通勤手当設定』で登録された金額 （非課税通勤費・課税通勤費の内訳含）を支給月・支給間隔に基づいて表示します。
*通勤手当＝「日額（往復）/自転車自動車等＝支給間隔「毎日」を使用している場合 （出勤日数①（②③）+休日出勤日数） × 『通勤手当設定』で登録した支給額		
11	法定内残業	◇『社員設定_支払基準』の設定＝「掛け率」の場合 ・月給 $\frac{\text{基礎額*1}}{\text{月間基準時間*2}} \times \text{法定内残業掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ ・日給 $\frac{\text{基本給日給①の単価}}{\text{1日所定勤務時間*2}} \times \text{法定内残業掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ ・時間給 $\text{基本給時給①の単価} \times \text{法定内残業掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ ◇『社員設定_支払基準』の設定＝「単価」の場合 $\text{法定内残業単価*4} \times \text{時間数*3}$
*1：『会社設定_支給項目設定』で「計算対象：時間外=対象」と設定されている支給項目の支給額合計です。 *2：『会社設定_勤怠情報』で設定します。 *3：給与データ入力画面「勤怠情報」欄の「法定内残業」に入力します。 （初期値：『会社設定_勤怠情報』時間項目「No4 法定内残業」） *4：『社員設定_支払基準』で単価/時間を設定します。 ※「掛け率」の計算式に使用する単価は「基本給日給①」「基本給時給①」のみ（②③の単価は対象外となります。）		

PB システム「給与」時間外・勤怠控除計算式

【支給項目】

項目 No	項目名	計算方法
12	法定時間外 1	<p>◇『社員設定_支払基準』の設定＝「掛け率」の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月給 $\frac{\text{基礎額*1}}{\text{月間基準時間*2}} \times \text{法定時間外 1 掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ ・日給 $\frac{\text{基本給日給①の単価}}{\text{1 日所定勤務時間*2}} \times \text{法定時間外 1 掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ ・時間給 $\text{基本給時給①の単価} \times \text{法定時間外 1 掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ <p>◇『社員設定_支払基準』の設定＝「単価」の場合 $\text{法定時間外 1 単価*4} \times \text{時間数*3}$ </p>
<p>*1：『会社設定_支給項目設定』で [計算対象：時間外＝対象] と設定されている支給項目の支給額合計です。</p> <p>*2：『会社設定_勤怠情報』で設定します。</p> <p>*3：給与データ入力画面「勤怠情報」欄の「法定時間外 1」に入力します。 (初期値：『会社設定_勤怠情報』時間項目「No5 法定時間外 1」)</p> <p>*4：『社員設定_支払基準』で単価/時間を設定します。</p>		
13	法定時間外 2	<p>◇『社員設定_支払基準』の設定＝「掛け率」の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月給 $\frac{\text{基礎額*1}}{\text{月間基準時間*2}} \times \text{法定時間外 2 掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ ・日給 $\frac{\text{基本給日給①の単価}}{\text{1 日所定勤務時間*2}} \times \text{法定時間外 2 掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ ・時間給 $\text{基本給時給①の単価} \times \text{法定時間外 2 掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ <p>◇『社員設定_支払基準』の設定＝「単価」の場合 $\text{法定時間外 2 単価*4} \times \text{時間数*3}$ </p>
<p>*1：『会社設定_支給項目設定』で [計算対象：時間外＝対象] と設定されている支給項目の支給額合計です。</p> <p>*2：『会社設定_勤怠情報』で設定します。</p> <p>*3：給与データ入力画面「勤怠情報」欄の「法定時間外 2」に入力します。 (初期値：『会社設定_勤怠情報』時間項目「No6 法定時間外 2」)</p> <p>*4：『社員設定_支払基準』で単価/時間を設定します。</p>		

PB システム「給与」時間外・勤怠控除計算式

【支給項目】

項目No	項目名	計算方法
14	平日深夜	<p>◇『社員設定_支払基準』の設定＝「掛け率」の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月給 $\frac{\text{基礎額*1}}{\text{月間基準時間*2}} \times \text{平日深夜掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ ・日給 $\frac{\text{基本給日給①の単価}}{\text{1日所定勤務時間*2}} \times \text{平日深夜掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ ・時間給 $\text{基本給時給①の単価} \times \text{平日深夜掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ <p>◇『社員設定_支払基準』の設定＝「単価」の場合 $\text{平日深夜単価*4} \times \text{時間数*3}$ </p>
<p>*1：『会社設定_支給項目設定』で [計算対象：時間外＝対象] と設定されている支給項目の支給額合計です。</p> <p>*2：『会社設定_勤怠情報』で設定します。</p> <p>*3：給与データ入力画面「勤怠情報」欄の「平日深夜」に入力します。 (初期値：『会社設定_勤怠情報』時間項目「No7 平日深夜」)</p> <p>*4：『社員設定_支払基準』で単価/時間を設定します。</p>		
15	休日労働	<p>◇『社員設定_支払基準』の設定＝「掛け率」の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月給 $\frac{\text{基礎額*1}}{\text{月間基準時間*2}} \times \text{休日労働掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ ・日給 $\frac{\text{基本給日給①の単価}}{\text{1日所定勤務時間*2}} \times \text{休日労働掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ ・時間給 $\text{基本給時給①の単価} \times \text{休日労働掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ <p>◇『社員設定_支払基準』の設定＝「単価」の場合 $\text{休日労働単価*4} \times \text{時間数*3}$ </p>
<p>*1：『会社設定_支給項目設定』で [計算対象：時間外＝対象] と設定されている支給項目の支給額合計です。</p> <p>*2：『会社設定_勤怠情報』で設定します。</p> <p>*3：給与データ入力画面「勤怠情報」欄の「休日労働」に入力します。 (初期値：『会社設定_勤怠情報』時間項目「No8 休日労働」)</p> <p>*4：『社員設定_支払基準』で単価/時間を設定します。</p>		

PB システム「給与」時間外・勤怠控除計算式

【支給項目】

項目No	項目名	計算方法
★支給項目 15: 休日労働 = 休日労働 + 休出支給額の合算を表示します		
15	休日労働 (休出支給額/日額)	<p>◇『社員設定_支払基準』の設定 = 「掛け率」の場合 (日給・時間給は計算対象外)</p> <p>・月給</p> $\frac{\text{基礎額*1}}{\text{月間所定勤務日数*2}} \times \text{休出支給額(日額)} \times \text{掛け率*2} \times \text{日数*3}$ <p>◇『社員設定_支払基準』の設定 = 「単価」の場合 (月給・日給・時間給計算対象)</p> <p>・休出支給額(日額) 単価*4 × 日数*3</p>
<p>*1: 『会社設定_支給項目設定』で [計算対象: 時間外=対象] と設定されている支給項目の支給額合計です。</p> <p>*2: 『会社設定_勤怠情報』で設定します。</p> <p>*3: 給与データ入力画面「勤怠情報」欄の「休日出勤日数」に入力します。 (初期値: 『会社設定_勤怠情報』日数項目「No8 休日出勤日数」)</p> <p>*4: 『社員設定_支払基準』で単価/日を設定します。</p>		
16	休日深夜	<p>◇『社員設定_支払基準』の設定 = 「掛け率」の場合</p> <p>・月給</p> $\frac{\text{基礎額*1}}{\text{月間基準時間*2}} \times \text{休日深夜掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ <p>・日給</p> $\frac{\text{基本給日給①の単価}}{\text{1日所定勤務時間*2}} \times \text{休日深夜掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ <p>・時間給</p> $\text{基本給時給①の単価} \times \text{休日深夜掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ <p>◇『社員設定_支払基準』の設定 = 「単価」の場合</p> <p>休日深夜単価*4 × 時間数*3</p>
<p>*1: 『会社設定_支給項目設定』で [計算対象: 時間外=対象] と設定されている支給項目の支給額合計です。</p> <p>*2: 『会社設定_勤怠情報』で設定します。</p> <p>*3: 給与データ入力画面「勤怠情報」欄の「休日深夜」に入力します。 (初期値: 『会社設定_勤怠情報』時間項目「No9 休日深夜」)</p> <p>*4: 『社員設定_支払基準』で単価/時間を設定します。</p>		

PB システム「給与」時間外・勤怠控除計算式

【支給項目】

項目 No	項目名	計算方法
17	時間外予備 1	<p>◇『社員設定_支払基準』の設定＝「掛け率」の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月給 $\frac{\text{基礎額*1}}{\text{月間基準時間*2}} \times \text{時間外予備 1 掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ ・日給 $\frac{\text{基本給日給①の単価}}{\text{1 日所定勤務時間*2}} \times \text{時間外予備 1 掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ ・時間給 $\text{基本給時給①の単価} \times \text{時間外予備 1 掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ <p>◇『社員設定_支払基準』の設定＝「単価」の場合 $\text{時間外予備 1 単価*4} \times \text{時間数*3}$ </p>
<p>*1：『会社設定_支給項目設定』で [計算対象：時間外＝対象] と設定されている支給項目の支給額合計です。 *2：『会社設定_勤怠情報』で設定します。 *3：給与データ入力画面「勤怠情報」欄の「時間外予備 1」に入力します。 （初期値：『会社設定_勤怠情報』時間項目「No10 時間外予備 1」） *4：『社員設定_支払基準』で単価/時間を設定します。</p>		
18	時間外予備 2	<p>◇『社員設定_支払基準』の設定＝「掛け率」の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月給 $\frac{\text{基礎額*1}}{\text{月間基準時間*2}} \times \text{時間外予備 2 掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ ・日給 $\frac{\text{基本給日給①の単価}}{\text{1 日所定勤務時間*2}} \times \text{時間外予備 2 掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ ・時間給 $\text{基本給時給①の単価} \times \text{時間外予備 2 掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ <p>◇『社員設定_支払基準』の設定＝「単価」の場合 $\text{時間外予備 2 単価*4} \times \text{時間数*3}$ </p>
<p>*1：『会社設定_支給項目設定』で [計算対象：時間外＝対象] と設定されている支給項目の支給額合計です。 *2：『会社設定_勤怠情報』で設定します。 *3：給与データ入力画面「勤怠情報」欄の「時間外予備 2」に入力します。 （初期値：『会社設定_勤怠情報』時間項目「No11 時間外予備」） *4：『社員設定_支払基準』で単価/時間を設定します。</p>		

PB システム「給与」時間外・勤怠控除計算式

【支給項目】

項目No	項目名	計算方法
19	欠勤控除	<p>◇『社員設定_支払基準』の設定＝「掛け率」の場合 (日給・時間給は計算対象外)</p> <p>・月給</p> $\frac{\text{基礎額*1}}{\text{月間所定勤務日数*2}} \times \text{欠勤控除掛け率*2} \times \text{日数*3}$ <p>◇『社員設定_支払基準』の設定＝「単価」の場合</p> <p>欠勤控除(日額)単価*4 × 日数*3</p>
<p>*1：『会社設定_支給項目設定』で[計算対象：勤怠控除＝対象]と設定されている支給項目の支給額合計です。</p> <p>*2：『会社設定_勤怠情報』で設定します。</p> <p>*3：給与データ入力画面「勤怠情報」欄の「欠勤日数」に入力します。 (初期値：『会社設定_勤怠情報』日数項目「No7 欠勤日数」)</p> <p>*4：『社員設定_支払基準』で単価/日を設定します。</p>		
★支給項目 20：遅刻早退控除＝遅刻＋早退＋私用外出の合算を表示します（時間給は計算対象外）		
20	遅刻早退控除	<p>【遅刻】</p> <p>◇『社員設定_支払基準』の設定＝「掛け率」の場合</p> <p>・月給</p> $\frac{\text{基礎額*1}}{\text{月間基準時間*2}} \times \text{遅刻掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ <p>・日給</p> $\frac{\text{基本給日給①の単価}}{\text{1日所定勤務時間*2}} \times \text{遅刻掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ <p>◇『社員設定_支払基準』の設定＝「単価」の場合</p> <p>遅刻単価*4 × 時間数*3</p> <p>【早退】</p> <p>◇『社員設定_支払基準』の設定＝「掛け率」の場合</p> <p>・月給</p> $\frac{\text{基礎額*1}}{\text{月間基準時間*2}} \times \text{早退掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ <p>・日給</p> $\frac{\text{基本給日給①の単価}}{\text{1日所定勤務時間*2}} \times \text{早退掛け率*2} \times \text{時間数*3}$

PB システム「給与」時間外・勤怠控除計算式

【支給項目】

項目 No	項目名	計算方法
20	遅刻早退控除	<p>【早 退】 ◇『社員設定_支払基準』の設定＝「単価」の場合 早退単価*4 × 時間数*3</p> <p>【私用外出時間】 ◇『社員設定_支払基準』の設定＝「掛け率」の場合</p> <p>・ 月給</p> $\frac{\text{基礎額*1}}{\text{月間基準時間*2}} \times \text{私用外出時間掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ <p>・ 日給</p> $\frac{\text{基本給日給①の単価}}{\text{1日所定勤務時間*2}} \times \text{私用外出時間掛け率*2} \times \text{時間数*3}$ <p>◇『社員設定_支払基準』の設定＝「単価」の場合 私用外出単価*4 × 時間数*3</p>

*1：『会社設定_支給項目設定』で [計算対象：勤怠控除＝対象] と設定されている支給項目の支給額合計です。

*2：『会社設定_勤怠情報』で設定します。

*3：給与データ入力画面「勤怠情報」欄の「遅刻時間」「早退時間」「私用外出時間」それぞれ入力します。

*4：『社員設定_支払基準』で単価/時間を設定します。

自動 付番	分類：回数手当	回数 × 回数手当の単価*1
----------	---------	----------------

*1：給与データ入力の支給単価情報欄で設定します。初回入力した単価を翌月以降自動表示します。

*2：『会社設定_支給控除項目』で1円未満の端数処理の設定を行います。

([端数処理＝四捨五入・切り上げ・切り捨て])

PB システム「給与」時間外・勤怠控除計算式

【支給項目】

勤怠情報項目名（初期値）	関係する支給項目（初期値）	合算できる支給項目（分類）
所定勤務日数		
	1 基本給(月給)	分類＝基本給
出勤日数①	2 基本給(日給)①	分類＝基本給
出勤日数②	3 基本給(日給)②	分類＝基本給
出勤日数③	4 基本給(日給)③	分類＝基本給
有給休暇日数		
勤務時間①	5 基本給(時給)①	分類＝基本給
勤務時間②	6 基本給(時給)②	分類＝基本給
勤務時間③	7 基本給(時給)③	分類＝基本給
公休日数		
休日出勤日数	15 休日労働	分類＝時間外
代替休暇日数		
法定内残業	11 法定内残業	分類＝時間外
法定時間外1	12 法定時間外1	分類＝時間外
法定時間外2	13 法定時間外2	分類＝時間外
平日深夜	14 平日深夜	分類＝時間外
休日労働	15 休日労働	分類＝時間外
休日深夜	16 休日深夜	分類＝時間外
時間外予備1	17 時間外予備1	分類＝時間外
時間外予備2	18 時間外予備2	分類＝時間外
遅刻回数		
欠勤日数	19 欠勤控除	分類＝減額
遅刻時間	20 遅刻早退控除	分類＝減額
早退回数		
早退時間	20 遅刻早退控除	分類＝減額
私用外出回数		
私用外出時間	20 遅刻早退控除	分類＝減額

※同じ「分類」でも「計算対象」の性質が異なる場合は合算することはできません。